

主な意見、要望等	市長、担当部署の回答、対応状況等	担当部署	最新の進捗状況等
幼稚園・小学校・中学校の再編について。小中一貫校、特認校、何とか小学校を残して地域にあった学校教育を。	ご意見として承る。	学校適正配置推進課	学校配置の適正化については、小規模化による教育環境への影響が懸念されるため、引き続き取り組みを推進します。
老後安心できる施設、交流できる場所を。	本市は公共施設が他市の２倍以上多い現状であり、老朽化や耐震化で維持するコストにより、財政負担が大きいので、一定の整理は必要。	公共建築マネジメント課	「岸和田市公共施設等総合管理計画」の改定完了に伴い、今後は各施設所管課において個別施設計画を策定し、適正な配置を推進いたします。なお、各課の計画策定に向けた継続的な支援を実施しています。
下水道整備の推進。R18には整備と議会答弁。早期に整備を。	「岸和田市公共下水道全体計画」において、「農業集落排水塔原・相川地区は、令和18年度までに南大阪湾岸北部流域関連公共下水道へ編入する予定である。」と明記されている。公共下水道は、下流から順次整備を進めていくものであり、農業集落排水塔原・相川地区の下流側に位置する東葛城地区については、令和18年度までに必然的に着手されることになる。東葛城地区の公共下水道整備年度の特定は現時点では困難だが、早期整備に向けて努めたい。	下水道河川整備課	
東葛消防署跡地を消防団の活動基地にできないか。	令和7年4月1日に運用を開始しているゆめみヶ丘防災センターに新たに消防団の活動拠点施設を建設していることから、旧東葛城出張所を消防団の前進基地として使用する必要性は低いと考え、今後は解体後に売却予定。	消防本部総務課	旧東葛城出張所の解体工事は完了しており、既定の方針に変更はありません。
災害時の避難所が遠距離。防災備品の用意ができていない。現在の施設の耐震化も一つの案。安全な場所の民家を最初の避難場所として町会からお願いしてる。	基本的に第1次生活圏ごとに確保できるよう被災の危険性が低い公共施設を指定避難場所として、地域防災計画に位置づけているが、各町の判断で町会館等を避難場所とされている町も複数ある。また、自主防災組織である防災福祉コミュニティの組織化と育成のため、結成時の資器材の購入費用や更新費用などの補助制度により支援している。	危機管理課	公共施設を指定避難場所に位置づける一方、各町の判断で町会館等を避難場所に活用している地域もあります。なお、自主防災組織である防災福祉コミュニティの組織化及び育成に向けて、資器材の購入及び更新費用に対する補助制度による支援を実施しています。
市街化調整区域での建築要件の緩和、区域の見直し、変更の事務処理のスピード化。	市街化区域の拡大等、区域区分の変更手続については、都市計画法に基づき大阪府が行うが、住宅の建設を目的とした市街化区域の拡大については、原則認めない方針が示されており、市街化区域への編入は困難であると考える。一方、都市計画法に基づく「都市計画提案制度」を活用し、「岸和田市市街化調整区域における地区計画ガイドライン」に規定する当該地域コミュニティの維持、改善を目的とした一体的な日常生活圏を構成する概ね1ha以上の区域において、当該地域で「既存集落地域の保全とまちづくり計画」を作成し、所定の手続きにより都市計画決定された場合、市街化調整区域内で住宅の建設が可能となる場合がある。また、市街化調整区域の既存集落における分家等住宅の立地にかかる開発許可については、運用基準等の周知を図るほか、事務処理期間の短縮が図れるよう、必要書類等の見直しを検討する。	都市計画課 建設指導課	
ゴミステーションに鳥獣対策用のゴミボックスの手立てをして欲しい。高齢者宅の各戸収集を	鳥獣対策として防鳥用ネットを支給しているので、そちらを利用いただきたい。高齢者等の個別収集については、現在制度設計に向けて調整中。	廃棄物対策課	鳥獣対策につきましては、既定の方針に対応状況の変更はありません。なお、高齢者等を対象とした戸別収集につきましては、対象要件の策定及び制度設計に向けた調整を進めています。
公共交通、バスは日中2時間に1本。貝塚や和泉など広域的に運行しては。	山手地域の交通の課題は大きいので、東葛城地区だけではなく山滝地区等も含めて山手地域全体に関する取り組みを検討したい。	交通まちづくり課	東葛城地区及び山滝地区をはじめとする山手地域全体における公共交通の確保に向け、関係機関との協議に着手しています。
子育て世代は住みにくい。サービス向上して欲しい。祭りにお金かけすぎ。	サービスは向上させていきたい。本市は公共施設が多く、ランニングコストがかかるので、幼保再編にて新たな財源を生み出していきたい。祭礼に係る支出については、観光客のための仮設トイレ設置や安全対策等の目的で後方支援に係る経費として、年間約4,300万円を支出している。	企画課	将来ビジョン・岸和田第1期基本計画において、子ども保育・教育環境の向上、子育て世代の定住促進、「子育てしやすいまち」のイメージアップを進め、子育てしやすい岸和田の実現を掲げ、進めています。
子育てサービスは幼稚園と小学校。古い建物でもリノベーションすればよい。	サービスは向上させていきたい。小中学校の給食費無償化は2学期から行う。子育て世代に選んでもらえる市にしたい。	企画課	令和8年度施政方針に基づき、「子育て世代に選ばれる岸和田」、「教育の充実」及び「スポーツによる地域の活性化」に資する各種施策を推進しています。
市全体のプランと地域ごとの取り組みに違い。3つ（地域に生き生きとした人がある、定住する経済の循環がある、住みやすい環境がある）のバランスがまちづくりには大事。各地区の公民館に職員配置し、地域ごとの意見を吸い上げ市政運営すればよいのでは。	本市の公民館等については「市民センター6館構想」に基づき整備が進められてきたが、その他の公民館も残したままとなっている。24校区に職員配置との意見は参考にさせていただく。	企画課	岸和田市立公民館及び青少年会館再編基本方針に基づき推進するものになります。
(旧)国道170号線の道路幅狭い。また、福田白原線の草刈り、伐採作業をして欲しい。	(旧)国道170号線の管理は大阪府岸和田土木事務所である(7/29連絡済)。市道福田白原線については、毎年計画的に草刈り、伐採作業を行っており、今後も継続的に行う。	道路整備課	現在、大阪府岸和田土木事務所において既存の道路敷地内における安全対策が検討されています。
神於山を整備して活用できないか、展望が良いので。	現状では散策道としての活用を考えている。園路・展望台・その他施設の維持管理については、神於山保全クラブの活動によるところが大きく、市の協働による維持管理の継続を目標としている。施設の整備については、インフラ等の問題もあり、現状では現実的ではないと考えている。PR等の工夫により、利用者数の増加を図りたい。	公園緑地課	神於山につきましては、現状では散策道としての活用を想定しています。園路や展望台等の維持管理は「神於山保全クラブ」の活動に依存する部分が大きく、今後も市との協働による維持管理の継続を目標としています。なお、新たな施設整備につきましては、インフラ等の課題があり現時点では困難であると認識していますが、PR等の工夫により利用者数の増加を図ってまいります。
小中学校の適正配置、東葛城小学校はどうなるのか。案自体はどうなるのか。	現時点で幼保再編は必要だと考えているが、小中再編はその次の段階であると考えている。	学校適正配置推進課	学校配置の適正化については、小規模化による教育環境への影響が懸念されるため、引き続き取り組みを推進します。
地域の要望を吸い上げる工夫を。	地域住民の要望等を整理・集約のうえ、文書で提出していただきたい。	自治振興課	